

平成30年度11月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 平成30年11月1日（木）午前11時00分～午前11時50分
場所 市役所2階 第1委員会室
出席 市政記者クラブ 8社

会見内容

1. 話題提供（1項目）

1. 冬季国体開始式及び一般観覧者の募集について

- 来年1月に開催する「イランカラプテくしろさっぽろ国体スケート競技会・アイスホッケー競技会」に係る開始式の内容が決定しましたので、お知らせいたします。
- 開始式は、大会初日の1月30日に、コーチャンフォー釧路文化ホールにおいて開催いたします。
- 式典の前に行う歓迎アトラクションは、ヒートボイスと釧路こどもミュージカルキッズロケットによる大会イメージソングの披露、北海道くしろ蝦夷太鼓保存会と日本舞踊花柳流寿登芳会による「岩鶴（がんかく）～サルルン・カムイ」、阿寒アイヌ工芸協同組合による「アイヌ古式舞踊」の3演目を披露するものであり、大会テーマの「イランカラプテ」、アイヌ語でおもてなしの言葉ですが、アイヌ文化を発信する内容となっております。
- なお、当日の式典音楽を演奏する音楽隊は、北陽高校吹奏楽局が担当し、参加都道府県旗入場のプラカード及び都道府県旗の受け取りを北陽高校の生徒の皆さんが行います。
- また、11月12日より開始式の一般観覧者を募集いたします。
- 開始式の観覧は無料ですが、事前の申し込みが必要であり、170名を募集することとしており、申し込み多数の場合は抽選となります。
- 多くの市民の皆様にご覧いただくとともに、全国からお越しになる選手、関係者の皆様に「イランカラプテ」を合言葉に、開会式をしっかりと行ってまいりたいと考えております。

2. その他(3項目)

北海道胆振東部地震に係る被災地への職員派遣について

- 9月6日に発生した北海道胆振東部地震では、土砂崩れや液状化による地盤沈下などにより、多くの人的被害、家屋被害が発生したほか、公共土木施設においても大規模な災害が発生したところです。
- このことに伴い、10月24日付で北海道市長会より中・長期の職員派遣要請について依頼があり、釧路市から土木職の職員を派遣することといたしました。

- 職務内容につきましては、公共土木施設災害復旧事業に係る査定事務、実施設計、工事発注、工事の施工管理などです。派遣期間は、11月5日から3月末までの5カ月間で、勤務地は、むかわ町穂別総合支所となっております。
- 派遣者につきましては、派遣期間の前半である11月5日から12月末までは、都市整備部道路河川課の主査職を、後半の1月1日から3月末につきましては、派遣先のむかわ町での業務状況による希望職種により判断します。

国際バルク戦略港湾 釧路港国際物流ターミナル完成式の開催について

- 11月23日（金）に国際バルク戦略港湾 釧路港国際物流ターミナルの完成式を、釧路市観光国際交流センターで開催します。
- 釧路港は、平成23年5月、穀物の分野で「国際バルク戦略港湾」として選定され、これまで西港区第2埠頭において事業を進めてきたところです。水深14mの岸壁や高能率の荷役機械等の整備を進めてまいりました。
- 事業主体である、釧路開発建設部及び釧路西港開発埠頭株式会社と港湾管理者である釧路市の3者の共催により、「国際バルク戦略港湾釧路港国際物流ターミナル完成式」を行います。
- このターミナルの完成により、釧路港を拠点とした効率的な輸送体系が構築され、パナマックス船などの大型船を活用した共同輸送による海上輸送コストの削減が可能となるとともに、ターミナルは、釧路西港開発埠頭株式会社による埠頭運営を行うもので、民間事業者による効率的な埠頭運営が行われるものと考えております。
- 国内で最初に供用開始されることとなりますので、今後も関係者が一丸となり、ひがし北海道を支える穀物飼料の輸入拠点の形成に向け、国際バルク戦略港湾である釧路港としての役割をしっかりと果たしていきたいと考えております。

エンジン01 in 釧路について

- 既にご案内のとおり、初の道内開催となる「エンジン01 in 釧路」が、明日2日から始まります。
- 2日（金）はコーチャンフォー釧路文化ホールを会場に、オープニングシンポジウムとコンサート、3日（土）は釧路公立大学で109もの講座が開催されます。また、夜には市内の23カ所の飲食店で、各講師と飲食を共にしながら語り合う「夜楽」が行われます。4日（日）の午前は釧路公立大学で講座を行い、午後はコーチャンフォー釧路文化ホールにてクロージングシンポジウムを行います。
- 釧路でこのような世界や国内で活躍されている著名人の話をじかに聞き、交流ができるまたとない機会ですので、ぜひ、より多くの参加をいただきたいと思います。
- わずかではありますが、一部の講座はチケットの当日販売もございますので、ぜひ会場へと足をお運びいただければと思います。

- なお、3日は公立大学構内には一般向けの駐車場はありませんので、公共交通機関や大規模運動公園及び消防訓練場の臨時駐車場をご利用いただき、会場までシャトルバスをご利用いただきますようお願いいたします。

3. 質疑要旨

(質問)

- ・ 国際バルク戦略港湾完成に伴う初入港はいつになりますか。

(計画・物流主幹)

- ・ 荷役機械の試運転を行う時に船が入港することは決まっていますが、供用開始後の入港についてはまだ決まっていません。

(市長)

- ・ 運搬の仕組みとして、積み荷を日本に運ぶ際には、どこの港に最初につくかというのは決まっていません。

まずとりあえず荷を積んで日本へ向かい、こちらに着くまで約25日間くらいかかる途中でアジア各国に荷卸しながら、日本のどこに寄港するかと決まってくるものです。

(計画・物流主幹)

- ・ 入港については、一週間くらい前にはわかると思います。

(質問)

- ・ 被災地への職員派遣の人数は何名でしょうか。

(職員課長)

- ・ 胆振東部地震の関係は、9月に罹災証明の発行業務として事務職2名、10月は釧路総合振興局からの依頼で事務職14名を派遣しており、今回は技術職1名の派遣となります。

(質問)

- ・ 派遣する職員は自ら希望した人ですか、指名した人ですか。

(職員課長)

- ・ 今回は都市整備部で北海道内の連絡会議があり、その中で職種を協議して、人選を行ったということです。

(質問)

- ・ エンジン01の臨時駐車場の駐車可能台数は何台ですか。

(市民協働推進課長)

- ・ 大規模運動公園が約700台で、消防訓練場は約500台です。

(質問)

- ・ 国際バルク戦略港湾の試運転の日程と、今回の整備によって、釧路市にどのくらい経済効果があるのかを教えてください。

(計画・物流主幹)

- ・ 試運転については、荷物を載せない無負荷状態での試運転は完了しています。負荷の試運転は11月12日くらいからの予定で、5～7万トンクラスの船が入港する予定です。また整備による効果は、海上の物流輸送コストがおおよそ10%くらいが削減されるという試算をしています。

(質問)

- ・ 明日で市長3期目の任期の折り返しとなりますが、これまでの2年間の振り返りとこれからの2年間についてのお話をいただきたい。

(市長)

- ・ 人口減少社会にどのような形で向かっていくのか、ということが大きな課題になっているわけでございまして、そこをしっかりと進めていくということに取り組んでいるところで、まち・ひと・しごと創生総合戦略でも目標を作りながら5年間で取り組んでいるところですが、まずはそこをしっかりと成し遂げていこうということで前半の2年間を進めてきたし、後半も進めていこうと考えています。

後半ということを考えていきますと、まちづくり基本構想もこの4月からスタートしたところでございまして、そういった中では「働く」ということ、「雇用」を軸に経済活性化を進めていき、それに伴う都市機能向上や人材育成などを柱に進めています。これをしっかりと軌道に乗せることが、後半非常に重要になってくると思っています。

そういったことによってまち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げた目標の達成にも寄与できると思っていますし、これはしっかりとやっていきたいと思っています。

おかげさまで今回の国際バルク戦略港湾の完成や高速道路の開通など、インフラや社会基盤が順調に進んできたこと、また、それらによりいろいろな効果を生み出していくような形をしっかりと進めていきたいと考えています。

(質問)

- ・ 先ほどは3期目の2年間ということでお話をいただきましたが、市長に就任してから10年ということで、これまでの振り返りをお話しいただきたい。

(市長)

- ・ 市役所の仕事は「市政は現場である」と言い方をしています。いろいろな分野に多岐に渡り関係していることが多いと思っています。

就任当初2カ月くらいかけて、市の約1,600事業のヒアリングを行いました。本当に幅広にたくさんあるということを実感しました。そういった中で私は、市役所は市民にとって一番身近で一番重要であるべきだとずっと言い続けてきましたし、市民の方々がそのように認識して感じてもらえるように取り組んできたところでございます。

(質問)

- ・ 今後の釧路市の課題と進めていきたいことなどはありますか。

(市長)

- ・ 情報共有というか、市役所の中でさまざまなことに関心を持つということを徹底的に進めていきたいと思っています。

よく言われる縦割りが悪いとは思っていません。縦割りというのは現場でさまざまなことを行いながら進めていくということだと思っています。でももう一つ、情報をしっかりと共有することによって、いろいろなやり方が変わってくるのだらうと思います。

先日の胆振東部地震に伴う停電で、9月6日の災害対策本部会議を行った時にも、釧路市内の状況はすぐ出てきましたが、市の関係のものだけでした。これが問題だらうと思いました。

ですので会議の途中から、情報の集約方法や内容について変更しました。

市役所は、市役所以外の民間などのものもわからなくてはならない。

例えば病院で言うと、市立病院の状況だけではなく、その他の病院の情報や、学校でいうと、私立の学校などはどなっているのかなど。

つまり日頃からこのような情報がわかるようにしておかないとならないと思います。

そうすることによって例えば、電気が通っていない水産業者の冷蔵庫などに対し、移動式の電源供給車などをどのように回していったらよいかということが速やかに判断できるようになります。

ですので、どこの所有物ということではなくて、可能な範囲で情報を収集した中で対応を行っていくことが必要だと思います。

どれだけ関心を持ってかつ共有できるか。これは難しいことですが、これをしっかりと日頃からやっていきたいと思っています。

(質問)

- 産業振興策などについてお聞きしたいのですが、鉏路市は製紙業・炭鉱・水産などの基幹産業が低迷してきている中で、今後どのような産業を推進していくのかという方向性をお聞かせ願います。

(市長)

- 産業につきましては、やはりここは生産都市ですので、1次産業がベースとなります。その1次産業の中でも「食」については、安全・安心な食を持つということは、きわめて重要かつ強みであると考えていますので、ここはしっかりと取り組んでいきたいと思っています。また鉏路は消費するまちでもあります。それぞれの持っている技術とか知能などにより盛り返していきたいと考えています。

K-Bizをスタートしたのも、産業というのはそこには必ず技術があります。ですからその強みというものをどうやって活用するか、全国や世界中の強みとマッチングさせて、優れた分野を他に活用できないかとかに、取り組んでいこうというものです。

ですからベース的には1次産業であって、そして既存の3つの基幹産業に伴う強さ・知能をさまざまな分野の中に生かしていくということで、また観光産業というのが日本の成長戦略の柱となっています。こういったところに鉏路も手を挙げてさまざま指定をいただいているところでもありますけれども、このようなものも活用しながら進めていこうと思っています。

(質問)

- 北大通のデパートの跡地について、市として何か具体的に動いていることはありますか。

(市長)

- 空きビルは非常に大きな問題だと思っています。今までも各関係機関に要請をしています。空家等対策の推進に関する特別措置法ができましたが、例えば中央都市の場合、解体費よりも土地代が高いので、あまり空きビルは出てこない。しかし地方都市では解体費よりも土地代の方が安い状況で、これが放置される原因です。

例えば土地と建物を持っている人がいて、建物を使わなくなった場合、本当は解体などの管理責任を果たさなければいけません。そのまま放置して、それを行政体が安全対策や景観の問題があるということで解体した時に、その土地は所有者のもののままになります。ここが納得のいかないところです。本来の義務を果たしていない、また周りに悪影響を及ぼしているのに、土地は所有者に残

る。これは公に渡すべきではないかということを思っています。このことを要請したり他の自治体の市長などにも話をしています。もしそこで何か落ちてきて人にぶつかった場合、本来は責任を取るのは所有者です。ただ責任がどこにあるのかということではなくて、うちのまちで起きていることと考えた時にどうなのかと思っています。

この度全道市長会で北海道選出の国会議員との意見交換の場がありますので、そこでお話をしたいと思います。また全国の地方都市でも同様の問題があると思いますので、全国市長会にも話をしていきたいと思います。

(質問)

- ・ 11月26日に市立釧路総合病院新棟建設関係の第2回の公判があります。JV側が反訴をする方針と言っていますが、今後はどのような方針で進める予定ですか。また新しい新棟建設計画の協議の進捗状況を教えてください。

(市長)

- ・ 裁判については、しっかりと対応しながら進めていきたいと思っています。

(新棟建設推進室長)

- ・ 新棟の協議については、計画自体が地域全体に影響するもので、地域医療構想等もあることから、今後は近郊の医療機関とも協議を進めながら、しっかりとした見直しをしないといけないということで、院内で院長を含めて話を進めています。